



春は、うきうきするのかどうかを考えてみたところ、どちらかという、春は不安な気持ちの方が大きいと思います。それはいつからなのかと考えたら、中学1年生からだったと思います。

今も、春の不安感はずきまとい、なかなかどうもこの気持ちはそう簡単に払拭できるものでもなく、うまく付き合うしかないと思っています。

さて、今年も桜の開花が始まりました。桜は咲いたと思ったら、冷たい雨や風ですぐに散り始め、まるで、「うかれるのは一瞬だけにしておきなさい」と、人生の教訓のよう。

なんだか、春の不安をぶちまけたようなネガティブな文章になりましたが、今月のお花は、白いシンプルな花器に桜だけを使ったアレンジで、「いさぎよさ」を表しました。

あれこれ迷わず桜だけを差し込んでいったところ、少し気分が晴れやかになりました。

事務長 高橋 圭位子